

京都品質工学研究会のご案内

品質工学とは、将来起こるかもしれないトラブルを未然に防いで、製品が引き起こす様々な損失を最小化することを目的とする、汎用性の高い技術方法論です。安定した設計・製造技術を効率よく開発する手法として、様々な技術分野や開発プロセスで活用され大きな成果をあげています。

今回、平成25年1月25日に開催しました「平成24年度品質工学セミナー」の報告と、平成25年度品質工学セミナー（第1回）及び京都品質工学研究会についてご案内します。

平成24年度品質工学セミナーの報告

平成25年1月25日

戦略的技術者を目指せ

品質工学会 名誉会員、関西品質工学研究会 顧問 原和彦氏

安全(safety)設計と安定(Robust)設計という2つの重要な考え方を軸に、戦略的な開発・評価を行える技術者となるよう啓発する内容で講義いただきました。技術者として大切な考え方を「モノづくりの掟」にまとめて紹介いただき、什の掟を一つずつ丁寧に説明いただきました。学校で学んだ科学的思考だけでは良いモノづくりは行えず、技術的思考を持つ戦略的な技術者を目指す必要性を強く感じることができました。



品質工学がもたらす良いヒトづくり、良いモノづくり

～TOTOでの取り組みと活用事例の紹介～

TOTO株式会社 中央技術センター もの創り人材育成センター 技術主査 五島伸洋氏

子会社での活動からスタートし、ボトムアップでTOTOグループの全社的活動に進展した品質工学活動の展開と現状、そして品質工学の活用事例について紹介いただきました。「ものづくりプロセス革新活動」の重要なツールの一つとして品質工学を積極的に活用・全社展開されている実例は、とても関心を持って聞かせていただきました。機能性評価から取り組む独自の教育体系にも聴講者の関心が高く、終了後に熱心な質疑等が交わされました。



平成25年度 品質工学セミナー（第1回）のご案内

中小企業の技術開発・技術人材育成を戦略的・効率的に進めるため、品質工学を活用・実践している先進企業の事例紹介と技術人材育成のポイントについて講義を行います。奮ってご参加ください。

テーマ「技術人材の育成と品質工学」

内容 講演(1):「技術開発・人材育成に於ける品質工学の効果」

(株)松浦機械製作所 天谷 浩一氏

講演(2):「技術者が品質工学から学ぶこと～3つの観点から～」

コニカミノルタ(株) 芝野 広志氏

日時 平成25年5月24日(金) 13時30分～17時00分

場所 京都府産業支援センター 5階研修室

対象 企業の経営層、技術・品質部門の管理者、技術者

参加費 無料

京都品質工学研究会の会員を募集しています!

京都品質工学研究会では、品質工学を活用した開発業務の革新・効率化を目指す企業が集まり、品質工学など開発スキルの相互学習、実際の開発課題への適用についてディスカッションを重ねています。平成25年度は初心者向け教育の充実と、研究事例のフォローアップや個別課題相談など実践支援の強化に注力していく予定です。初心者の方も参加しやすい研究会です。技術開発・製品開発の改善・効率化、技術人材育成を目指す方々のご参加をお待ちしております。

〈京都品質工学研究会 平成25年度活動計画〉

活動内容 ①定例会(毎月第2金曜の午後) ②基礎学習会(6月26日(水曜)10～17時、新規会員・初心者向け。代理参加可能。)

③講師による個別課題相談(各定例会開催日の午前)

講師 各定例会に外部講師を招聘します(コニカミノルタ(株) 芝野広志氏、(有)アイテックインターナショナル 中野恵司氏らを招聘予定)

年会費 法人会員 1社2名まで40,000円(追加1名につき15,000円)※個人会員 1名20,000円もあります。

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 基盤技術課 TEL:075-315-8633 FAX:075-315-9497 E-mail:qe@mtc.pref.kyoto.lg.jp